



式典の様子!!

(13.10.20)

群馬県立館林高等学校
同窓会会報

盛大に開かれた 館林高校創立80周年記念式典

会報第四号発行
に寄せて



同窓会長 岩野 秀市

同窓生皆様にはお元気で活躍のこと存じます。会報発行も同窓生皆様を初め関係者の格別のご協力をいただきました第四号を発行することができ心から感謝とお礼を申し上げます。同窓会

同窓会会報四号
発行に寄せて



校長 永島 武

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてそれぞれの分野で活躍のこととお喜び申し上げますとともに、日頃から本校の教育及び部活動等の振興・発展については格別なるご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。昨年十月二十日に館林高校創立八十周年記念式典が本校体育館で開催され、在校生や同窓生、保護者、教職員らが節目を祝い、二十一世紀での学校発展に思いを新たにするとともに、記念講演会も十月二十二日

も総会、会報発行、特に昨年より同窓生の交流と親睦をはかる目的でゴルフ大会も本年は第三回目を迎え、去る五月十五日に奥宮松倉ゴルフ場に多数の参加をいただき盛大に開催することができました。又各支部においても支部活動を通して情報交換交流を深め同窓生としての仲間意識を深めると共に同窓生としての絆をより強くするために活動が進められておることに対してはただ感謝あるのみです。私達が学んだ頃と今は時代も変り人の考え方も変わったのか、問題課題の多い時代になりました。他人のことを考えよう、人を育てようと言う意識がなくなつたらだと思えます。私は母校の入学式や卒業式で申し上げ

るのですが、自分の頭で考え自分の問題は他人に頼るのでなく自分で答えを出していく主体性をもって欲しいと話しております。その中で人間が成長するためには、人と人との出会いが人間形成には大事なことだと思えます。同窓会も今の社会は複雑でありきびしい状況ではありますが助け合い、励まし合いながらの社会生活が求められておると思えます。同窓会もそんなことをこれからも考えながら同窓生の絆をより深めて行きたいと存じます。今後とも同窓生皆様のご協力をいただき同窓会の発展と母校館林高校に対し限りなくご支援をお願い申し上げます。同窓会発行に寄せての言葉といたします。

に行われ、「スーパーマーケット」をテーマとして、前原章忠とリゼン社長(昭二十九卒)が講演しました。同窓生各位のご協力により大成功のうちに終了できましたことに感謝申し上げます。平成十四年度同窓会関係として、五月十五日の第三回同窓会懇親ゴルフ大会、五月十七日の開校記念講演会では鈴木木敏男七隈商事社長(昭二十三年卒)の演題「後進に期待するもの」による講演、七月六日の職業別進路講演会での同窓生十四名の講話による講演等、同窓生各位の全面的なご協力により講演に進んでいくことに感謝申し上げます。なお、十一月九日には館林高校同窓会総会が行われ、多く同窓生のご参加をお願いします。さて、本年度から学校完全週五日制となり、全ての土曜日が休みとなりました。家庭・学校・社会とも教育責任が一層重要になっていきます。本校ではこのことを踏まえて、館林地域の中心の進学校としての位置づけをさらに強固にするために、本年度から二期制を導入するとともに、五教科七科目の大学入試センター試験に対応できるように授業の一単位

時間を四十五分とし、月曜日から金曜日まで毎日七時間の授業を確保しました。昨年度の進路状況ですが、国立大学現役合格者が延べ六十五名で過去最高の合格者数でした。その中から五十二名が進学し、私立大学現役合格者が延べ四百十三名で、百七十二名が進学しました。平成十四年度も昨年度の実績をさらに伸ばすため、生徒及び教職員一同総努力しているところです。平成十四年度の学校行事ですが、四月二十七日に実施され、完歩率九十五、一％の第二十三回五十キロ強歩大会や多くの運動部活動の活躍と一年生が整然と入場行進して、初の優秀校に輝いた五月の高校総体、七月十日・十一日の球技大会等の行事も順調に進んでいます。さらに、九月二十一日の第五十一回の全国高校決勝大会、九月二十三日のオープンスクール、十月六日・九日の修学旅行、十月二十一日の学部学科別進路講演会、そして、二月二十八日の同窓会入会式、三月三日の卒業式等となっています。結びに、会員各位のご健勝と同窓会のご発展をお祈りいたします。



~~~~~ 大きくはばたく館林高等学校!! ~~~~~

# 創立80周年記念式典

## 厳粛に・荘重にかつ盛大に開かれる

▶ 参加者全員で校歌を熱唱



◀ 整然と式典に臨む生徒達

創立八十周年記念式典が、平成十三年十月二十日(土)午前十時より第一体育館において、地元国会議員・県議会議員を始めとする来賓各位をお迎えし、同窓会・生徒・PTA・教職員ら千二百名が集う中、厳粛に、しかも荘重かつ盛大に挙行されました。

本校は、大正十年に群馬県立館林中学校として開校し、昭和二十三年の学制改革によって群馬県立館林高等学校に改称され、商業科の併設・開校、定時制設置と学科の一部改廃、伊奈良(板倉)分校の設置・独立(現板倉高校)等々の幾多の変遷を経ながら、二万八千五百九十九名の卒業生を送り出し、館林・邑楽地区の中心校としての役割を果たしてきました。

この八十年の歴史を積み重ねてきた多くの方々の足跡に改めて敬意を表しますとともに、館林高校卒業生各位が築かれた伝統と校風を継承し、館林・邑楽地区の学問及び体育・スポーツの拠点校として、本校はさらに飛躍しなければなりません。

この度の八十周年では岩瀬彌市実行委員長(同窓会長)を中心としました同窓生の皆様に記念事業の募金をお願いしましたところ、母校への限りない愛着とご厚情により貴重なご寄附を頂きましたことを心より感謝を申し上げます。そして、お陰様にて計画しました諸事業の全てを完成することができましたことをここに報告いたします。

### (八十周年記念事業)

- 一 学校自動車の購入整備  
部活動等の振興を図るため、遠征時等に使用する生徒送迎用の十人乗りワゴン車を三台更新 することにより、部活動の一層の活性化を図ることができました。
- 二 吹奏楽部の楽器整備  
式典や各種発表会に参加するために必要な楽器十一台を購入することにより、吹奏楽部活動の振興を図ることができました。
- 三 記念誌「館林高校八十周年誌」の発刊  
本校の歴史を刻む冊子を発行することができました。原稿を執筆くださいました方々に感謝 いたします。
- 四 桜並木道路の改修整備  
桜並木道路の改修整備をすることにより、降水時の水溜まりを解消することができました。

# 支部活動



経高東京同窓会の様子

### ◆「数々の思い出出す夜かな」

これは萬葉が上野で詠んだ句を、経高東京同窓会の今年の役員会を兼ねた元夜の花宴(上野での例年行事)で、私の挨拶の冒頭で引用したのですが、其の折、永原校長先生が「数々の思い出出す夜かな」と本校の校歌を思い出し、皆でいっしょに唄って欲しいと挨拶され、湧き、我が母校の校長と一同感心した経緯があった。

事実、この様に嬉しい経緯状況が伝達し、先の見えぬ今年の政治情勢だけに、故郷に青年時代の心の故郷、中学・高校時代の思い出し郷に思い、心を休めながら、故郷の思いに對峙して行く事が如何に大事な事か、東京同窓会会員の天々が真切同窓で共鳴し合う事でもある。

東京では「数々の思い出出す夜かな」の東京(原宿)同窓会との交流が益々盛んになり、県下各校の専門家を審判員として各校コンクールがこの秋には行われる予定であり、我々も「東京派の賞状を」で祝賀入賞する予定である。

近く納涼の海の舟遊びを兼ねた役員、家族会も8月に、又10月には第21回の総会が、上野練馬で行われる予定であり、同窓の元日本女子医科大学の関口守由氏が生活病に定年するが、其の予防準備を身内の保護する予定である。100人以上は出席予定であるが、本校、及び各支部の関係の皆さんも出来れば

講演されては如何?と思つた。更に同窓会なればこそ親しみ、講義を深めて本来の同窓会の存在意義を会員夫々が認識出来るよう、活性化を求めて益々一貫協力して努力中と自負している。本校及び各支部の同窓会の皆様の下で各校同窓会に求めぬ皆々の光栄、発展を東京から祈念しております。

経高東京同窓会  
会長 鈴木 敏男  
連絡先 03-3663-7740  
(七福NANAYO商事K.K内)

### ◆総会の運営

2002.7.8 総会会長 河内初光  
「本会は、母校及び同窓会本部との連携を更にし、会員相互の親睦を図り、知識・情報の交換を行うと共に、母校及び地域社会の発展に寄与することを目的とする」(会則第2条)  
今年、①新年総会・懇親会 ②総会会報第2号発行 ③板倉文子氏打楽器の演奏(聖徳見物と演奏) ④校舎支部総会に参加および東京同窓会・親睦会に参加 ⑤第3回総会東京オープンゴルフ大会 ⑥第2回本部同窓会ゴルフ大会参加 ⑦賞状編纂委員会(本年から年々2回発行)以上実施済み。  
なお、今後の予定(検討中)は、a. 函館研修会 b. 函館訪問視察、上毛新聞社、土曜文芸研究会、井上哲三堂(夏季講習) c. 文化同窓会参加 d. 秋の総会東京オープンゴルフ大会 ⑧平成15年度総会・新年会は平成15年1月18日(土)に予定しております。  
おかげで、昨年度年会費千円で発足した会員制度は、その後も講演会員も増え、会費も集まり軌道に乗っております。

母校も創立87年、市町合併問題もいよいよ選択の時期が迫っておりますが、時代は大きく変化し、更に大きく変化します。しっかりとらした将来展望にたつて実りある東毛社会の実現を目指したいものと思つた。2万多名を超える経高同窓会メンバーは真に大きいものがあります。

総会会は、これからも何となく元気にやっております。これから何卒、今後ともよろしく指導・ご鞭撻をお願いいたします。以上

〇「校舎支部」  
校舎支部長 飯野 次雄  
創立二十二周年を迎え、名刺を「松葉会」から「校舎支部」に変更した最初の総会が二月二十三日飯野町細谷の原田魚店で開催されました。

東京に同窓会長、学校長、東京・千代田・大泉支部長を迎え、四十歳前半の会員から七十歳代の会員まで幅広い会員が集い、世代を超えた交流が図られ、同窓生としての結束も強まり、楽しいひとときを過ごすことができました。

今後の講演は、会員の幅を広げることで、より多くの会員が気軽に集まれる会にする。とあります。今後の講演についてはよりよいお考えがありましたら、事務局「小野田」連絡先まで聞かせ下さい。また、会場の案内がとぎまじらたらなら是非「出席下さい」。

小野田 裕次郎  
連絡先 0276-821-1323

### 〇「明和支部の活動」

当明和支部も平成十二年十一月二十三日に発足し、以後他支部との交流等も各会員相互の親睦をはかりながら、地域社会の発展に寄与することを目的とし、講演会活動も続けております。その間、本部主催のゴルフ大会にも支部会員の参加を得、他支部会員との交流を深め同窓会としての自覚と認識を新たにしたい。互いの人間性豊かな優しい絆を築くことが出来たのではないだろうか。又、平成十三年九月二十二日には第一回の支部総会が五十多名の参加を得ました。誠に感謝する事が出来た。当日は本部同窓会長、母校館林高校校長、事務局、及び会場で地元館林の矢口野先生、同じく会場で衆議院議員谷津義男先生の代理として秘書、近藤支部長等、多くの来賓の方々のお出立をいただき、その上、総会の営業をも頂戴し身に光栄を感じた。総会終了後、懇親会に移り過ぎる日の母校の思い出、並びに近況等時代と共に移り行く姿形を思い浮かべながら、年令を超えた同窓という共通の理解が心ゆくまで熟考する事が出来、最後は新年度を合戦し、万歳を三唱して解散しました。日頃講演がちでしたが、この会以後は、会員相互の信頼と、親睦がはかられます。なお本年度総会も、懇親会は、五月開催という事ですが、都合により九月を予定してありますので、その際は是非「出席下さい」とお願い致します。今後共、役員一同「楽しい講演作り」に努めますので、よろしく指導・ご鞭撻はとお願い申し上げます。最後に

〇「千代田支部の活動」  
千代田支部長 其井 康良  
我が千代田支部は平成十三年度から役員を一新し、支部規約も整備し、更なる発展を期しております。  
今度グラウンドゴルフだけ行っていた活動に加えて競艇旅行、ボランテニア活動、会報発行等新しい企画を考えています。いろいろな活動を通して会員相互の親密なる関係を作り、地域住民との友好な関わりを持ちたいと考えています。  
新しい企画を實行するには多くの賛同があると思われ、試行錯誤の考えで実行する活動にしていきたいと思います。

〇「太田・新田支部の活動」  
太田・新田支部長 瀬山 昭二  
昨年は、母校創立八十周年、二十一世紀を迎えて、最初の大きな節目の年でありました。太田新田支部でも、この間、支部長以下役員の新選を予定してありますが、人心一新の上新しい同窓会発展に向けて、鋭意努力して参る所存でございます。現状では、残念な事に、同窓会参加に積極的な年代層は、当支部の会員では、少数派であります。幸い、本部同窓会に活性化に伴い、同窓会参加者が徐々に増えてきている事が、支部にとっても、多数派の年代層に影響を及ぼし、参加者の増加が期待されます。「継続は力なり」を目標として、皆々の発展を目指し、太田新田支部役員(実行部)の皆様は、是非支社事務局へ、「ご一報下さい」。

〇「津島支部」  
津島支部長 若林 清  
連絡先 0276-4517212

〇「東山支部」  
東山支部長 若林 清  
連絡先 0276-4517212

〇「地元主催第三回」  
地元主催第三回「同窓会ゴルフコンパ」(八)

昨年も賑わったが、今年もこの日は曇り、15日地元の朝霧ゴルフ場に84名が集い、和気あいあいの中に「特に楽しい」交えて「ゴルフコンパ」が催された。参加者は昨年の111名には及ばなかったものの84名の参加でパーティも盛り上がりを見せた。

〇「八月上旬」  
支部総会(新田) 八月上旬 支部総会(新田) 八月上旬 支部総会(新田) 八月上旬

〇「九月下旬」  
競艇旅行(鬼怒川温泉) 九月下旬 競艇旅行(鬼怒川温泉) 九月下旬 競艇旅行(鬼怒川温泉) 九月下旬

〇「八月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 八月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 八月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 八月下旬

〇「七月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 七月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 七月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 七月下旬

〇「六月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 六月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 六月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 六月下旬

〇「五月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 五月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 五月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 五月下旬

〇「四月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 四月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 四月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 四月下旬

〇「三月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 三月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 三月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 三月下旬

〇「二月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 二月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 二月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 二月下旬

〇「一月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 一月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 一月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 一月下旬

〇「十二月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 十二月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 十二月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 十二月下旬

〇「十一月下旬」  
ゴルフ大会(東部運動公園) 十一月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 十一月下旬 ゴルフ大会(東部運動公園) 十一月下旬



コンペの後の表彰式

# 館高Then

## 大先輩登場



「出会い」  
旧制第十七回卒  
橋田 基利

「南に新しき国打ち立てん、若人吾等心一つに!!」三井農林、日野水常務取締役が、北ボルネオ出張所員の社行会で吾々に贈ってくれた歌である。昭和十七年十一月十七日我々南方開拓をめざす若者達を乗せた吉野丸は、広島県宇品港を出航した。雲一つない、秋晴れの朝であった。途中さしたる変化もなく、海軍の哨戒機の護衛で台湾の高雄港に入港、此の辺から敵艦隊が出没するので、時たま非常事態に備えて訓練があった。カムラン湾にも「敵艦隊が見えたらしい。」と云う情報で過速したりして、ようやく、シンガポール港に着いたのが十二月はじめの二日であった。シンガポールは当時「昭南港」と改名されていた。街中は日本人でごった返していた。椰子の木や、その他の南方風物を除けば、まるで内

地に居る様であった。ボルネオ行きは船便を待つ間、昭南の街を歩くと、十二月四日に「サラワク」向けの便があると云うので、万事務物を積んで港の岩壁へ行く、船は七、八百トン余りの貨物船で、勿論、吾々はデッキ、パツセンジャーである。雨に降られたならば、慌てて船倉に、潜り込み、荷物と一緒にある。「魚の干し物」や「アンペラの漬」がポンポンする船倉で、気分を悪くする者も続出した。我々三井農林第二次組六名、どうやら無事「クチン」港に到着し、直ちに「クチン」兵站ホテルに落ちついた。

我が校は、ボルネオ（今は東マレーシア）サラワク州とはとても縁があった様に思う。戦争中昭和十七年からボルネオ守備軍に旧制中学時代の配属行校であった佐合録<sup>（注）</sup>二中佐殿が部隊長をしておられ、ミリー駐屯地でお会いして、その奇遇に驚き館中配属当時の話に花が咲き、酒を飲み交わしたことがあり奇しくも昭和十九年現地入隊して以来終戦まで、お世話になった。又十四代校長横山浩先生もクチン飛行場の通信兵として転戦し同じ復員船の「輝山丸」で帰還しておられたことも後で知らされたのである。敗戦時の「クチン」スングイブリオの収容所では豪州軍の浮城としてキャンプ、ボーイをしていた私は旧制十五回卒の大森芳太郎さんが、フィリピンから陸上攻撃機でボルネオに不時着し私のいた収容所に陸軍航空大尉の姿で入所した時、思わず手を取り合い肩を抱いて、肉身の様に喜び合ったのである。昭和六十一年日本サラワク協会が創立

され、度々サラワク訪問旅行が実現し、先年谷津眞男先生が「サバ」サラワク」に行かれ福田トクトリンの先鞭を「ODA」政府開発援助をなされた。又私が熱帯雨林と自然破壊の視察でサラワク州最大の大河「レシアン河」の上流のカヒット市を訪れた時現地の「イバン」族の大酋長部に元総理福田赴夫先生の写真が飾られていた。こんな山奥の異国の地と!!大感道徳!!かこの地と訪問した時の記念写真とか?吾々は更に友好親善の絆を深めた思いであった。

過去を振り返らずと云うが悲願もこもこが、人生である。それ等を想いながら、許す。同窓会の益々の発展を祈念します。

平成十四年八月 記す

## 恩師登場



「館林高校の十七年間」  
奈良部 豊雄

昭和三十五年四月、桐生女子高から館林高へ赴任した。三十才であった。女子高から男子高へ、桐生では生徒は明るく活発で、伸び伸びと学習にも部活動にも勤んでいた。若い先生も多く、楽しく意欲的な毎日であった。館林高は男子高、生徒の中には暴力もときどきあり、先生は生徒に厳しい態度で臨んでいた。気持ちを引き上げて授業にのぞみ、学習意欲の向上に努めた。放課後の補習授業や追試験など、生徒からは「ふんばり」と思われたかも知れない。昭和三十五年は、日米安全保障条約の改定が議案にかけられ、この改訂には、日本の平和憲法の理想に反するとして、全国規模で反対運動が盛り上がり、群馬県高教組もこの運

動に熱心に取り組み、その組合員であった私も国会への反対運動に参加した。国会を埋め尽くしたデモ隊を警官隊が取り囲み、緊張した雰囲気の中で、国会への請願を行なった。学生たちの組織全学連は警官隊とはげしく衝突し東大学生の榎真智子さんがこの衝突の中で死んだ。私たちにも大きな衝撃であった。昭和二十年に日本が降伏し、二十一年に日本国憲法が制定され、世界平和を目指す日本の歩むべき道が明示され、その精神を承けて二十二年に教育基本法が制定されている。われわれ教員は、この憲法と教育基本法の下に、青少年の教育に携わって来たのである。私の五十年間の教員生活を支えてくれたのは、この二つ

の法律の精神である。最近、有事立法とか、教育基本法の改訂とかが報道されるが、今こそ、わが国が世界に誇るべきこの二つの法律の価値をしっかりと見直すべきである。館林高校でも、生徒が徐々に自主的に活動するようになり、大成祭においても自分たちで実行委員会をつくり、内容の豊かな楽しい文化祭ができるようになって行った。私のクラスでも、みんなで協力して劇を上演し、その練習に遅くまで取り組み好評を得て大喜びした。またクラスの数名がまとまり、谷川岳の縦走に出かけた。きつい上り下りが続き、水が無くなって二人がはるか下の川まで水を汲みに下りていったりもした。終点に着いてみんなで成功を祝

い合った。なつかしい思い出、なつかしい生徒、なつかしい先生が今も目に浮かぶ。十三年間館林高校に勤務し、桐生高校に転勤したが、それから十三年後に、思いもかけず、校長として再び館林高校に勤務することとなった。館林高校は時代の流れもあり、地域の人々から、生徒の学力向上が強く求められていた。先生たちと協力して、教育課程の改善をはかり、生徒の学習意欲の向上に努めた。長い歴史を持った商業科が、館林商工高の開設に伴い、閉科と決まり、記念式典を聞いてその歴史を閉じた。四年間の校長としての勤務の中で、同窓会の皆さん、PTAの皆さんに多くのご支援をいただいたことに深い感謝の思いがある。

# OB通信



1945年(昭和20年)5月 陸軍特別幹部生入横日の朝  
「春山君の庭先で撮ったお別れの写真」  
左から 松沢氏・春山君・榎岸君・春山君の弟

★松沢 十一氏の遺稿を基に  
昭和21年卒、群馬県其郷町にお住まいの松沢 十一氏から貴重な写真とお便りが事務局宛に送られてきましたので紹介します。

第二次世界大戦中、敗色濃い昭和19年、「学徒動員法」に基づき終戦の年まで、軍需工場へ動員され、戦闘機の生産に日夜勤務を命じられておりました。私たち生徒も、「海軍兵学校」、「海軍飛行予科練習生」、「陸軍予科士官学校」、「陸軍少年飛行兵」、「同特別幹部候補生」などの兵科を選んで志願し入校したのです。同級生の春山君由君は昭和20年5月、陸軍特別幹部候補生(兵庫県神戸市駐屯)として15歳の若さで入校いたしました。当時物資不足のため、私と同級生の榎岸君は自家

製の「日の丸」を約200本ほど作りました。写真は入校出発の朝庭先で撮った記念写真です。  
以上が松沢氏のお便りの全文です。なんと忍耐強い手紙なのでしょう。あれだけ時代の波に翻弄され、自分の責任ではない戦争の犠牲者でありながら、学徒動員を志す友を暖かく送り出している。とても言葉では言い尽くせないほどの悲しみ、悔しさ、憤りなどがあつたでしょう。じつとそのような感情を抑えて、淡々と文に綴ってられる松沢氏のお便りには感動を覚えます。それにしても、写真の左端にある「入隊一 館中同級生一同」の文字が痛々しく、悲しい。



今年1日講師14名の皆さん

◆OBによる職業別進路講演会  
OBによる職業別進路講演会が7月6日(土)の5限〜7限の時間帯でおこなわれた。14人の参加をいただき、原動力から芸術、社会福祉まで例年になく幅広い分野で講演をしていただいた。非常に暑い日で、しかも生徒を覚えて2時間連続の講演(授業)だったので疲れたかと思うがよく頑張ってくださいました。それぞれのOBの人たちは下調べ(教員は教材研究という)に相当時間をかけて臨まれ、講義終了後の生徒たちの質問にも適切に答えていたようだ。  
なかでも、小暮勝茂(眞望)氏の芸術版画(セリグラフ)の講義にてた生徒たちは難しい内容をわかりやすく説明してくれて、興味深かったと感想を述べていた。  
小暮眞望氏は明治大学の工学部を卒業されその後芸術の道を志され、現在では活躍は日本だけでなく世界でも名前のしれた気鋭の芸術版画(セリグラフ)家である。本校にもしほらく訪つてあつた。



名古屋市内で開かれた役員会

◆中京群馬県人会が役員会  
中京群馬県人会(中里見理事長)の役員会が名古屋市内で開かれ、本年度の事業計画などを決めたほか、役員改選を行った。  
本年度事業は九月十四、十五の二日間、名古屋市内の久屋大通公園で開催される東海地区の三十五の県人会が繰り広げる「大県人会まつり」への参加。本県は「八木節おどり」を披露する。また、事務局長の広井勇吉古屋事務所長が「群馬見聞録」の登録や、二〇〇五年に開催される愛知万博の「日本の風無百選」への応募などの協力を呼びかけた。  
中京群馬県人会は愛知、三重、岐阜の三県に在住、在勤する本県出身者で構成されており、会員数二百五十人。  
主な新役員は次の通り。  
▽会長 中里見(前橋)▽副会長 加藤重太郎(昭和)高梨生馬(前橋)新井守保(高岡)角田祐二(赤城)丹羽住三(太田)梅沢和夫(北橋)角田凱彦(赤城)藤野雄也(館林)▽専務



謝辞を送る田口八段

◆剣道「範士」の田口さんを祝福  
剣道界最高の称号である「範士」に認められた館林市大島町出身の田口栄治八段(62)に東京都荒川区荒川川(2)の受賞祝賀会が、同市城町の市文化会館で開かれ、地元剣道、スポーツ関係者たちが祝福した。  
田口さんは旧大島村生まれ。県立館林高校を卒業して警視庁に入り、選手、指導者として活躍。退職後は衆議院剣道講師に就任した。館林邑楽地区の剣道家でつくる「善会」の名譽顧問を務め、地元愛好家も指導している。一九九三年に八段に合格、今年五月の移転審査会で範士となった。  
祝賀会は館林邑楽剣道連盟が開催。田口井正会長らのあいさつを受け、田口さんは「称号に恥じないよう、さらに精進を通じて剣道会の発展に微力ながら尽くしたい」と謝辞を述べた。  
以上は上毛新聞7月18日の記事です。

黒沢利生(高岡)  
(参考)  
藤野雄也氏(昭和27年館高卒)  
読売新聞社社友  
岐阜県多治見市脇之島町6-65-13  
TEL0572-251-1397  
以上は上毛新聞6月11日の記事です。  
田口栄治さん(商業科5回生、旧姓  
神村氏「範士」に)

# 館高Now



## 男子の意気をここに見る

**驚異の完歩率95%超！  
第23回50キロ強歩大会！**

午前6時30分から午後6時40分まで強歩！ (写真あり)

館林高校の名物学校行事である50キロ強歩大会が4月27日(土)午前6時30分、参加者634名と一般参加者5名が永島校長先生のピストルの合図で、渡良瀬川河川敷から朝日に向かって勢いよくスタートした。快晴で気温がぐんぐん上昇したにもかかわらず、完歩率は昨年を上回り95%で過去最高となった。トップでゴールしたのはスタートからわずか4時間半、11時07分、1年生でサッカー部所属の瀧澤雄一郎君であった。



## 2000年前と変わらぬ美

館林高校で大切に育てられている蓮の花。毎年6月下旬から7月上旬にかけて、校庭の池で咲き誇ります。蓮は2000年以上前から栽培されているとされ、その美しい花姿と清らかな香りが、多くの人々を魅了してきました。本校でも、この美しい花を育て、その美しさを後世に伝えることが目的です。毎年、多くの来校者がこの蓮の花を鑑賞し、その美しさを堪能しています。

**みなさんの地元から後輩が  
何人在学中かな？**

館林市内 289名 (旧大島地区、赤羽地区、六郷地区、渡瀬地区)



疲れもピークに達しているがなお頑張る館高生

ご承知の方も多いと思いますが、本校の50キロ強歩大会は群馬・栃木・埼玉の三県にわたる板倉町・橋本藤岡町・北川辺町・明和町・千代田町・館林市の六市町を走るコースで、生徒たちの忍耐心・克己心の育成をねらいとしている。辛いことがあるとすぐそこから逃げ出してしまう若者が多い中、物事を途中で投げ出さない、最後までやり抜く精神を鍛えるには格好の行事であるようだ。

(を答む)

|            |      |
|------------|------|
| 太田、新田、尾島地区 | 201名 |
| 邑楽町地区      | 112名 |
| 大泉町地区      | 73名  |
| 千代田町地区     | 38名  |
| 明和町地区      | 36名  |
| 板倉町地区      | 33名  |
| その他        | 7名   |

悪いことではないのですが、太田地区が少なくなってきたといえ、まだ201名。これはこちらの地区から太田方面にもかなり通学していると思われる。ちなみに、昭和35年(話はだいぶ古くなりますが)当時、館林中学校(現在の館林第一中学校)から太田方面に(太田高校)進学した生徒はただの一名でした。

**●12名の教育実習生**

「この貴重な機会を生かしたい」  
「質問攻め、進路室で待つています」  
六月三日(月)から二週間教育実習が行われる。本校のOBで今年には12名が来校。早速息気込みを聞いた。

実習生の控室は進路室。三年生はぜひ大学のことを聞く良い機会と思う。相談も良いと思う。ぜひ足を運ぼう。

# 進路状況

館高の進路実績は右肩上がりです。昇を続けている。

①グラフのとおり今年も現役国公立大学合格者数に六〇人の大台に乗った。

②現役大学進学達成率は八七%で全国的に見ても高い。

③難関私立大への現役合格者が増え、大学の館高に対する評価が上がった。

早大、法政大、明治大、中央大、青学大等を始めとする全国五八大学からの指定校推薦を受けるようになった。

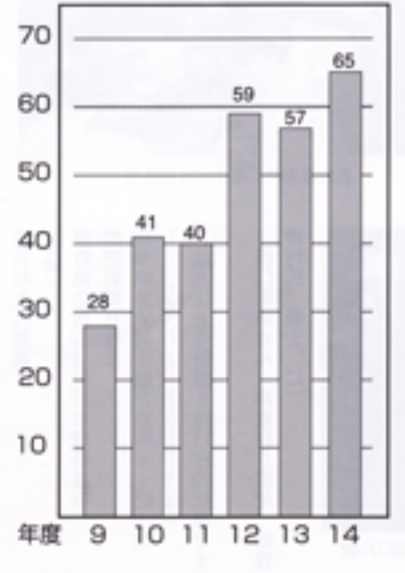
こうした館高の躍進を見て本校を視察に来る他県の高校も増え、去年の秋から今年にかけてすでに九県十二校が訪れている。

先輩の後ろ姿を見て在校生もよく努力しているので、今後さらに館高の躍進は続きそうだ。

なお、卒業生二七六名の進路決定数は、国公立大五二、私立大一七三、短大二、専修十四、就職〇、浪人三五である。

# 上昇する現役 国公立大学合格者

過去6年間の現役国公立大学合格者の推移



**■十四年度合格状況(現役のみ)**

【国公立大学】(65名)  
東北大3、秋田大2、山形大2、群馬大26、埼玉大2、茨城大8、宇都宮大1、東京学芸大1、東京商船大1、新潟大2、信州大2、富山大1、滋賀大1、大阪外大1、高知大1、琉球大1、はこだて未来大1、創路公立大2、会津大2、高崎経大4、

前橋工科大1  
【私立大】(414名)  
早稲田大1、青山学院大5、明治大6、中央大6、法政大7、東京理科大6、日本大23、芝浦工大6、独協大22、東洋大11、駒沢大8、専修大14、大東文化大16、東京電気大8、東海大11、他24

# 部活動状況

## 第37回群馬県高校総合体育大会

平成14年5月10日(土)～12日(日)開催  
 第37回群馬県高校総合体育大会が、県内86校の参加を得て、10日から3日間に渡って繰り広げられた。結果は入場行進で初めて優秀校に選ばれ、また関東大会出場を果たした部は、レスリング・ボート・山岳・バドミントン・卓球・ソフトテニス等の六競技部であった。日中を連えて行われる陸上・水泳の動向次第では過去最大の関東大会出場数になりそう。勢いづく館林高校を県下に知らしめる結果を残すことができた。



▶入場行進優秀校に選ばれ喜びを表現した選手たち

# 館高Now

## 【レスリング部】

今シーズンは、二月の関東選抜を主力三名が勝ち抜いたのを皮切りに、本選の全国選抜にその三名が出場し、50kg級大川弘毅が第三位に入賞した。六月には高校生にとって最高峰に位置する全国高校総体、全国グレコ大会の代表権を争う予選会が行われ、前期三名が揃って双方の権利を得た。全国選抜で三位の大川は第二シード(総体)、54kg級松本隆太郎は二年生ながら上位を狙う。また63kg級藤本貴誠は初の県優勝がインターハイ

に繋がり意気も上がっている。今夏は団体戦こそ勝てなかったが、三名の代表者それぞれ興味合いのある全国大会となるであろう。全国総体は八月一日～五日、茨城県土浦市に於いて、全国グレコローマン選手権は、八月十六日～十九日(福岡県福岡市、於)の間、熱戦が繰り広げられる。

未善ではありますが、同窓会諸先輩よりのお志、いつも誠にありがとうございます。頑張っていきたいと思えます。

## 【山岳部】

五月に行われた県の高校総体で4位

に入賞し、来る十一月八日～十日、神奈川県箱根町で行われる関東登山大会に参加します。

現在、部員は21名おり、部員の土気も高く、熱心に日々トレーニングに励んでいます。夏休みには北アルプスの合宿を計画しています。地味な活動ですが、大自然に抱かれ、頂上に立つ時の感動は言葉では表現できない素晴らしいものがあります。登山を通じて体力・精神力、そして豊かな心を培っていきたくと考えています。来年度の目標は、インターハイ出場です。

## 【バドミントン部】

バドミントン部は、実に十九年ぶり三回目の関東大会出場ということで、生徒はもちろん教員にとっても初出場のような気持ちで大会に臨みました。今回は、県大会で強剛桐生商業を破ったので出場であったため、桐生には「一回戦では負けられたのですが、生徒達は、そのようなものは我慢も感じさせないのびのびとしたプレーで、東京代表の二松学舎大附属高校を退けました。惜しくも二回戦で敗退してしまいました。が、今回の大会を通して、二年生が学んでくれたものを、次回の新人戦に生かしてくれることを期待しています。

最後に三年生の諸君、本当によく頑張りました。君達の土運ぶりに、県バドミントン専門部の人も驚いていることでしょうか。お疲れさま。心から感謝しています。

## 【卓球部】

平成十四年度第52回関東高等学校卓球大会は六月一日(土)から六月二日(日)にかけて栃木県宇都宮市民体育館で行われました。県総体にて奇跡の大逆転で団体三位に入賞し、団体出場権を手中

に収め、また個人戦においても二年生の徳竹真人がシングルスで出場権を獲得しての関東出場でした。

団体戦は栃木県一位の宇都宮学園高校と対戦し、校長先生にも応援に駆けつけて頂いたのですが、善戦むなしく敗退しました。個人戦は二年徳竹は一回戦千葉県の君津高校の生徒に勝ち、二回戦が東京実践学園の第一シードの生徒と対戦しました。デュースに持ち込んだセットもあつたのですが、残念ながら0-3と敗退しました。一年生も応援に駆けつけ、生徒全員が関東のレベル高い卓球を肌で感じる事ができたと思います。この経験が日々の練習につながり、館林高校卓球部のレベルが、ますます高くなっていくことを期待したいと思っています。

## 【ソフトテニス部】

五月に行われた県高校総体にて吉田・野村組がベスト16に入り個人戦で関東大会出場となりました。今年の関東大会は六月二日山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園テニスコートにて行われました。一回戦、千葉県の東金商業には4-1で勝利し続く二回戦、栃木県の宇都宮短大附属高には2-4で惜しくも敗退してしまいました。当初の目標であった一回戦突破は果たしましたが、やはり精神力・体力面等不十分で三回戦進出ならなかったと思っています。また、六月八日に行われたインターハイ予選ではベスト8入りできず、残念ながら今回もインターハイ出場はなりませんでしたが、日々努力している彼らにこれからも期待したいと思っています。これからも応援の程、宜しくお願い致します。

## 【陸上部】

平成十四年度関東高等学校陸上競技大会は、六月十四日から十七日までの

四日間、茨城県那珂町の笠松運動公園陸上競技場で行われました。本校からは、三年三組の齋藤宗徳君が初日の走幅跳と最終日の100MHと三段跳の三種目に出場しました。

走幅跳では三回目目に六M七八の自己ベスト8に入ったものの、逆転され、惜しくも十位に終わりました。

100MHでは予選で落選したものの、直後に行われた三段跳では十三M八一を跳び、ベスト8に入り、残り三回の試技で全国大会出場権を得る六位入賞を期待しました。しかし、残り三回の試技を全てファールしてしまい、八位から上位へ上ることができませんでした。

久しぶりの全国出場はなりませんでしたが、今後も全国出場目指し頑張っている部員に期待したいと思っています。

## 【弁論部】

平成十三年九月八日(土)、館林三の丸芸術ホールにて、本校主催の全国高等学校決勝弁論大会が開催されました。北は北海道の立命館慶祥高等学校から南は岡山県の倉敷聖松高等学校まで、全国24名の弁士が集い、第50回大会にふさわしく、活気ある弁論大会となりました。

来客の方々が協力する中、開会式が行われ、永島武大会会長や宮田敦夫審査委員長の挨拶、来賓の挨拶がありました。その後、本校弁論部二年対比地秀輔の基準弁論で大会の口火が切られました。個人では東京都早稲田実業高等部、金奈生君、団体では茨城県太田第一高等学校が優勝しました。本校同窓会、弁論部OBのご協力のものと成功のうちに大会を終えることができました。今後も、ご協力、ご支援をよろしくお願致します。

平成十四年  
同窓会本部役員

|                      |                   |                      |                      |                     |          |
|----------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|----------|
| 名譽会長<br>廣澤 純孝 (十一年卒) | 顧問<br>渡辺利三郎 (三年卒) | 副会長<br>岩瀬 弥市 (二十五年卒) | 副会長<br>小磯 泰男 (二十六年卒) | 監事<br>山崎 健典 (三十四年卒) | 事務局 (本校) |
| 参与<br>谷津 義男 (二十八年卒)  | 水島 武 (母校校長)       | 橋田 基利 (十七年卒)         | 宇治川福司 (二十七年卒)        | 山崎 浩志 (二十八年卒)       | 平田 一秀    |
| 矢口 昇 (二十五年卒)         | 安楽園一雄 (四十一年卒)     | 松本 耕司 (三十八年卒)        | 山川 博 (二十九年卒)         | 河本 栄一 (三十六年卒)       | 増尾 和俊    |
|                      |                   |                      | 岩崎 健典 (三十四年卒)        | 山崎 稔 (三十二年卒)        | 関沢 浩     |
|                      |                   |                      | 宇治川福司 (二十七年卒)        | 前山 秀樹 (三十七年卒)       | 鈴木 康弘    |
|                      |                   |                      | 山崎 浩志 (二十八年卒)        | 大隅 允雄 (三十八年卒)       | 斎藤 哲男    |
|                      |                   |                      | 山崎 稔 (三十二年卒)         | 塩田 栄 (十八年卒)         | 阿倍 志保里   |
|                      |                   |                      | 山崎 浩志 (二十八年卒)        | 高木貞一郎 (二十七年卒)       |          |
|                      |                   |                      | 山崎 稔 (三十二年卒)         | 橋本 清 (四十一年卒)        |          |

過去3年平均して350名以上参加!!  
今年も是非参加を! 「館高同窓会総会親睦会」

マイナス材料の多いなか18歳の自分と向き合い、18歳の頃の友人たちと、年に一度位、尽きない話をし、思い出を懐かしむのも良いもの。そしてあのころのパワーを呼び戻し奮い立ちましょう!

日時:平成14年11月9日(土)午後5時~

会場:グローバルアイ羽衣(館林市)TEL.0276-74-0110

—事前に参加券を購入のうえ、ご参加ください—

今年4回目を迎える新生「館高同窓会総会親睦会」は皆様のご理解・ご協力のおかげで、平均参加者数が367名といういままでには考えられない規模で開催することができました。スローガンの「総会のスリム化」、「同窓生はみんな平等」、「同級生は同一席」が参加者に好評だったのが原因として考えられます。これに害することなく更に500名目指して、今年も9月中旬から総会幹事より参加券が出回りますので、ご協力をお願いします。(参加券は5,000円、事務局にもあります。)

— 遠方の方も懐かしい同窓生に会えますのでどうぞお出かけください。 —

事務局より

○情報提供を

学年同窓会やクラス会、部活OB会等が行われまししたらその情報や写真等を送ってください。会報に掲載したいと思えます。

○会報講談希望の皆さん

来年度、同窓会報の郵送を希望する方は払込用紙により年会費一、〇〇〇円を納入して下さい。



▲ 熱気あふれる昨年の同窓会



▲ 今年の総会・親睦会への決意を送る代表幹事の皆さん

編集後記

創立80周年式典は谷津代議士を初め、OB各県議諸氏、近隣OB各市町村長、県からは原浩一郎教育委員長代行、その他本校ゆかりの方々の参加を得て、厳粛・荘重かつ盛大に催されました。80年という歴史を重ねた本校はここ数年めざましい進路と部活動の実績を収めて参りました。これらは全て会員皆様のご支援のためものと深く感謝している次第です。

昨年ちよつと体をこわしまして、式典・総会・親睦会に出られず、関係の皆さん、とりわけ総会幹事・代表幹事の皆様には多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。ここ何年かの勢いから、総会・親睦会の参加者は三〇〇名を下らないようにと日々奮闘されておられる幹事の皆様と共に事務局もよりいっそう頑張る所存です。季節柄、同窓生の皆様にはご自愛下さいますように。(平田記)